

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 5 年 5 月 25 日(2023.5.25)

【公開番号】特開 2023-36953(P2023-36953A)  
 【公開日】令和 5 年 3 月 14 日(2023.3.14)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-048  
 【出願番号】特願 2023-606(P2023-606)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/09(2006.01)

10

A 6 1 P 11/00(2006.01)

A 6 1 P 31/04(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/09 Z N A

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 31/04

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 5 月 17 日(2023.5.17)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

還元的アミノ化により肺炎球菌多糖 - タンパク質コンジュゲートを調製する方法であって、

a) 血清型 3、6 A、6 B、7 F、9 V、14、18 C、19 A、19 F、22 F、23 F および 33 F から選択される肺炎連鎖球菌多糖をある量の酸化剤と反応させて、0.05 ~ 0.22 の活性化レベルを有する活性化多糖を形成し、

b) 非プロトン性溶媒中で前記活性化多糖を担体タンパク質と反応させて多糖 - タンパク質コンジュゲートを形成すること

を含み、

得られた多糖 - タンパク質コンジュゲートが両端値を含む 7.0 ~ 18.0 の範囲内のリシン損失値を有する、方法。

【請求項 2】

前記活性化レベルが 0.09 ~ 0.22 である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

工程 b) における前記反応が還元剤の存在下で行われる、請求項 1 に記載の方法。

40

【請求項 4】

前記担体タンパク質が、破傷風トキソイド、ジフテリアトキソイドおよび CRM 197 からなる群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記担体タンパク質が CRM 197 である、請求項 4 に記載の方法。